

第9期第4回北区男女共同参画審議会 議事要旨

【開催日時】令和6年8月27日（金）午後6時30分～午後7時30分

【開催場所】北とぴあ5階 スペースゆう多目的室A B（対面）

【次第】

1. 開会

2. 議事

（1）第6次アゼリアプラン事業実績報告書【令和5年度】（案）について

（2）第7次アゼリアプラン骨子について

（3）アゼリアプラン進捗評価方法の変更について

3. その他

4. 閉会

【出席者】奥津委員 平野委員 山田(昌)委員 山田(由)委員 早瀬委員 吉江委員 関口委員
関口委員 矢吹委員 古賀委員 清水委員 金子委員 吉田委員
阿部委員 松沢委員 いながき委員 宮地委員

【欠席者】植木委員 中島委員 加藤委員 牛村委員

○開会

- ・総務部長挨拶
- ・新任委員挨拶
- ・出欠状況の報告、資料確認

○事務局

これから先の議事の進行については、奥津会長にお願いいたします。

○奥津会長

奥津でございます。いつもお世話になっております。この夏は本当に暑い夏でございまして、まだ暑さが収まっていないのに台風が来たということでございますけれども、皆様お障りなく乗り切って来られたかと思えます。今日も外は怪しい天気ではございますけれども、しっかりご議論をいただきたいと思えます。効率良く、あまり延ばさないように進めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○奥津会長

条例施行規則によりまして、本審議会は原則公開となっております。個人情報等を扱うなど特別な場合には非公開とすることもできますが、今回は公開を進めてよろしいですか。

（異議なし）

○奥津会長

では、公開にいたします。発言の際はマイクを使っていただいて、最初に名前をおっしゃっていただくから発言をお願いします。まずは、現行のアゼリアプランの実績をどう見るか、これから動いて行くであろう計画案の中間まとめの骨子を見ていただき、評価の方法まで考えるということですので重い

議題ですが、よろしく申し上げます。

それでは、議事（１）について、事務局からまず説明をお願いします。

○事務局

（「議事（１）」についての説明）

○奥津会長

まずは、最初に所管課がどう考えたかを聴き取って、多様性社会推進課がチェックした報告書です。事業単位から課題を抽出して課題をまとめたものを諮りたいということですが、評価そのものに疑問があるということであれば、是非先に出していただきたいと思いますが、内容についてはいかがですか。

○山田（昌）委員

これはたぶん毎年言っていることですが、事業を実施したかが評価なのかという疑問です。例えば、15 ページの女性活躍のための環境整備では「講座を実施しており概ね進捗している」という評価ですが、その結果、どの位管理職が実際に増えたのか、講座参加者はどの位満足したのかを数値化することが本当の評価ではないのでしょうか。その点については、あまり検討しなかったのでしょうか。

○事務局

講座については、参加者からアンケートを取り、次の事業の改善点や変更点の参考にしています。事業の中には実績の数値で評価できない事業も多くありまして、数値化できる事業については個々の事業で改善を行い評価しています。例えば、相談事業については、相談人数が多いということは困っている人が増えているということになりますので、意識意向調査の結果等なども踏まえて第7次のアゼリアプランを検討しているところです。実態として評価ができないものもありますが、できるところから始めているところではございます。

○山田（昌）委員

できるところから始めていただくのが良いと思いますが、評価というのはAをつけたから良いわけではなく、次に実施する場合にどういうところを改善したらもっと効果が上がるのかを見極める作業が重要なため、実施しただけで評価が終わってしまっている事業が多々ありますので、今後は気を付けていただけるとありがたい。

○奥津会長

事業の効果や成果を、何らかの形でデータとしてお示しいただければかなり納得できる場所もあると思います。数字で表せない事業内容についても、それなりの効果を表現することはできると思いますので、今後お願いいたします。

○事務局

後ほどの議事でも触れますが、評価方法の変更を踏まえて評価シートも見直しますので、その際に今のご意見を反映できるようにしたいと思います。

○奥津会長

他にいかがでしょうか。

○平野委員

山田委員の意見については、私もそうだなと思っているところです。こちらに掲載されている評価についてお伺いしたいのですが、概ね A 評価の事業の中で、前年度が B 評価で今年度も B 評価、前年度が A 評価で今年度が B 評価の事業については、A 評価を目指して進められてきたのではないかと思います。各事業でどのように改善を意識されて取り組まれたのか教えていただきたいと思います。

○奥津会長

その B 評価の事例は、資料内のどこに該当しますか。

○平野委員

例えば、36 ページの事業番号 162 番庁内審議会等への女性委員登用の数値目標の設定、これはすぐに変更できたりすることではないかと思っていますが。次の、37 ページの 186 番「家族ふれあいの日」推進事業でも前年度の評価が A で事業単位評価が B で、どうしてかなと。その次の、38 ページの 194 番文化センター事業も、女性の参加が多く男性の参加を促したいといったところなのかなと思いますが、改善するために新たな取組みなどを実施したにも関わらず、評価 B が変わらないのはなぜかご説明いただければと思います。

○事務局

まず 36 ページの 162 番は、目標を 40% に設定をしていますが、周知などを行っているにもかかわらず伸びが小さいということですので、数値目標は達成できていないが働きかけてはいるので前年度通りの B 評価です。37 ページの 186 番家族ふれあいの日推進事業については、所管課で昨年度の実施状況を踏まえて改善の余地があると判断しての B ではないかと思えます。38 ページの 194 番文化センター事業は、目標設定値が高く届かないけれども、概ねは達成できているために B になっていると思われま。このように、目標を達成できていないために B 評価 になっていると思われま。他に気になる事業があれば、担当課に確認いたしますので、ご連絡をいただければと思います。

○小宮山総務部長

162 番については、多様性社会推進課から庁内各課、各部局にかなり様々な働きかけをしています。例えば、危機管理室では、防災会議の代表者や委員に男性が多かったため部長数名を委員から外し、定数の余裕が出た部分に女性委員を抜擢して、女性の意見を考慮しつつ審議するという動きにはなっています。評価は変わっていませんが、部局内では様々な動きをしています。

○奥津会長

事業数が多いので、改めて見ていただいて、お気づきのことが出れば、また後でも質問を受けます。事務局は、評価の仕方が課によって違わないように庁内で統一してください。そうすれば、山田委員の意見のような、効果についても一定の水準で評価できるようになると思います。では、資料 14 ページから 16 ページまでの総合評価を諮っていただきます。

○奥津会長

まず、目標1です。課題が4つございました。全体としては、新しいテーマを設けて努力し進んでいるということで、「概ね進捗している」という総合評価です。これについてはよろしいですか。

(異議なし)

○奥津会長

目標2の課題1 ワーク・ライフ・バランスについては、いくつかの事業を整理されて、その結果として様々な講座の実施や企業との連携も順調であることから、「概ね進捗している」という総合評価ですが、ご意見はよろしいですか。

(異議なし)

○奥津会長

課題2も、子育て・介護・看護についても、区民のニーズを捉えて様々に取り組んでいるため進捗はしていますが、これからまだまだやるべきことはあるという認識のもとにこれをまとめると、「概ね進捗している」という評価です。よろしいですか。

(異議なし)

○奥津会長

目標3のみ、「目標に向け進捗しているが、さらなる取り組みが求められる」となっています。

課題1は、女性活躍はある意味では職場環境がメインになっています。課題2は、女性のキャリア開発・支援ですが、女性のキャリア形成が多様な形を取っていることを前提として、問題意識として捉えつつ様々な事業を展開しているため、「概ね進捗している」となっています。課題3が、いわゆるなかなか解決しない課題です。町内会や自治会などで女性のリーダーが出て来ない、啓発はされているがまだ足りないということで、総合評価では、「概ね進捗しているがさらなる取り組みが求められる」ということですが、いかがですか。

○山田(昌)委員

58番は「実績なし」となっています。とりあえずこれで結構だが、逆に出前講座を実施すれば女性のリーダーが増えなくとも評価が上がるのか、それとも、実際に女性の自治会会長やPTA会長が増えないと評価されないのか、議論していただきたいです。

○奥津会長

事業の効果をどのように表現するのかは、重要なことですのでどうですか。

○事務局

評価については、次の議事2の第7次のアゼリアプランの骨子の中で今後の見直し方針を説明いたしますので、ただいまのご指摘の令和5年度の評価については、これまでの評価方法で検討していただきたいと思います。

○奥津会長

では、目標3はよろしいでしょうか。

(異議なし)

○奥津会長

では、目標4の課題1も同様に、「さらなる取り組みが求められる」です。キャリア教育については体系的に取り組んでいますが、地域団体に関係するところがうまくいっていない。防災の取り組みについても、講座などを色々と実施しているものの積極的に参加して活躍しようとする女性が増えないことが課題となっています。そのため、総合評価として、「進捗はしているが、さらなる取り組みが求められる」ということですが、よろしいですか。

(異議なし)

○奥津会長

課題2も、これは計画を推進するための仕組みですので、まさに自己評価です。区の推進体制の充実や区民との連携が、自己評価として十分ではないという評価内容ですが、もっと強く表現しますか。これはよろしいですね。

(異議なし)

○奥津会長

では、目標と文言については、承認します。

議事2について、事務局からご説明をお願いします。

○事務局

(「議事(2)」についての説明)

○奥津会長

まず資料2について、審議会の提言を受けて整理したもので、初めのページは施策の順番を変え、事業番号35と36は文言を修正し、45と54は支援の対象を子育てと高齢者等に分けて相談事業を記載したということですがよろしいですか。

○山田(昌)委員

54は家族介護者への支援ですから「高齢者等」と記載すると高齢者のための相談に聞こえますが、介護者等、高齢者だけが相談に行くわけではないので文言を工夫した方がいいと思います。

○奥津会長

家族の介護の中に入る支援ですので高齢者介護なのか老々介護なのか、わかりにくいので言葉を整理して表記してください。

○事務局

家族の介護の中には障害者の介護も含まれますので、幅広い範囲を含むといった趣旨で「等」としま

したが、ご意見をもとに修正します。

○奥津会長

「等への」とするとわかりづらいですね。後で修正してください。

○いながき委員

資料 2 の 5 ページなのですが、第 6 次アゼリアプランでは課題の「女性活躍のための環境整備」が非常に大事だったのですが、提言ではそれが無くなっています。44 番の「職場とあらゆる場面でのハラスメントの啓発」で、職員を対象にした研修をはじめとした様々な取り組みをしていますが、兵庫県知事のパワハラ問題をはじめ、区の職員の様々なパワハラやセクハラ、最近はカスハラでも女性の職員が標的にされやすいと思いますが、提言に特記されていないということは関知しないということなのですか。ハラスメントは、女性の活躍をするための環境整備をする上ではとても重要かと思しますので、ご説明を求めます。

○事務局

表を上詰めてしまった関係で、ハラスメントについては、青字で書いてあります目標 2 の課題 3「働く場における男女平等の推進」の施策 2「職場等におけるハラスメントの防止」の取組 1「様々なハラスメントの防止に関する啓発<再掲>」に記載しています。これまでの第 6 次アゼリアプランでは、ハラスメントは 1 箇所しか記載していなかったのですが、第 7 次では、ハラスメントを大きな人権侵害と捉えてさらに増やし、目標 1 の「互いの人権を尊重する意識の形成」の施策 2「人権侵害防止および男女共同参画を阻害する暴力の防止対策」の 5「様々なハラスメントの防止に関する啓発」にも記載しておりまして、目標に跨った取り組みを入れております。

○いながき委員

理解できました。ありがとうございます。

○奥津会長

資料 3 についてご意見はございますか、提言との関連を説明として記載しているものです。

○矢吹委員

資料 2 の 1 ページ 24 番の「性に関する学びの提供」が資料 3 の 2 ページ 24 番にもあり取り組みとして「性教育のモデル事業の実施」の担当課が多様性社会推進課となっておりますが、7 ページの 82 番の「性教育モデル授業実施」では教育指導課となっております、担当課に齟齬が生じています。

○事務局

大変申し訳ありません。24 番の担当課は教育指導課です。誤りですので修正いたします。

○山田（昌）委員

性教育モデル授業と性教育のモデル事業のどちらが正しいですか。事業として実施するものとし、ないものに分けたのですか。

○事務局

同じ事業ですので、事業です。今回新たな取組として、モデル事業を学校の授業の一環で実施します。

○奥津会長

誤植ですので、「事業」で統一して修正してください。

○矢吹委員

第6次アゼリアプランには性教育の出前講座がありましたが、第7次アゼリアプランにはありません。

○事務局

性教育の出前講座は、多様性社会推進課が実施する出前講座の「デートDV講座」のことですが、第7次アゼリアプランでは、出前講座「デートDV予防啓発講座」として表記を変えさせていただいております。

○矢吹委員

わかりました。ありがとうございます。

○奥津会長

次に、資料4はサンプルで、プランの構成、計画の性格、期間、概要などを表しています。書いてある中身については、これから変わります。新たな部分としては、重点事業が毎年変わってしまうとおかしいので、計画期間に重点取り組みという大枠を設けて、重点取り組みのなかから重点に相応しい主要な事業を抜粋して、固定5年間で継続評価をしていくとのこと。この主要事業はひとつですか。複数ということはありませんか。

○事務局

今はまだ選定の段階ですが、取り組みによっては、複数の事業が挙がることもあります。

○奥津会長

それは、審議会で審議するわけですか。

○事務局

10月の審議会で事務局案を示して審議していただき、ご意見をいただいた上で、「中間のまとめ」をまとめた後にパブリックコメントを実施します。

○奥津会長

資料4については、いかがでしょうか。

○山田（昌）委員

意見です。策定の趣旨と理念の背景として、グラフなどを挿入して数字を交えて説明した方がわかりやすいと思います。管理職比率や自治会の会長数の推移が伸びていない実情などは、図形を交えながら

説明した方がいいと思います。あと、数値は最新のものを使ってください。

○奥津会長

意識意向調査のデータも挿入することになっていますから、根拠になるデータをお願いします。他に、ご意見等はよろしいですか。では、議題（3）に移ります。

○事務局

（「議事（3）」についての説明）

○奥津会長

評価の仕方を変えるということですが、先ほど意見にあった事業の効果やネックになったものをはつきりさせることについて主管課としてどうですか。

○事務局

主要事業に含まれる事業は、継続評価を行っていきますので、評価表の中に所管課による評価の理由を書き込む欄を新たに設けて原因を探ります。事業実績報告のみの事業についても、所管課の評価理由と今後の対策について記入欄を設けます。

○奥津会長

では、評価の変更については、いかがですか。

○山田（昌）委員

最初に言ったように、比較可能な数値があるものはあらゆる事業でデータを示し、相談件数や自治会の会長の人数などを数値化して、なるべく「見える化」していただきたい。国の政策でも役員比率を公開することになったら役員が増えたという効果があるため、ぜひ見える化をしていただきたい。また、文字では事情が伝わりにくいので、可能であれば各課に評価のヒアリングをしてはどうでしょうか。

○奥津会長

評価の仕方を変えるというのは、過去の評価と比べようとしたときにうまく繋がらないところも出てきますが、それはどうですか。あるいは、案を出してみてくださいという話もあるかもしれませんね。これまで大きな事業も小さな事業も数値化できるものもできないものも全部合わせて按分していた評価方法を変えるということは、よろしいですね。配慮度チェックも所管課の主観であるため廃止にするという説明でしたが、配慮度チェックが全く評価に関係しなかったことはなかったと思います。評価理由を所管課にヒアリングをしてはどうかという意見もありましたが、どうですか。

○事務局

実績報告の際に事前に各課に通知して、ヒアリングの回答と同様となるような具体的な内容を書き込むように働きかけます。ただし、進捗しない事業については、個別に訊く必要があるとは思いますが。200余りの事業数がありますので、特出した事業のみにヒアリングを行うかどうかについては、今後の検討になります。

○奥津会長

評価が A 評価から B 評価に下がったり、B 評価のまま改善されないような事業については、何か工夫されると、良い案が出て来るかもしれません。他にいかがですか。無いようでしたら、その他に移ります。

○事務局

(今後のスケジュールの説明)

(第9期委員任期終了の説明)

○奥津会長

ご意見はありませんか。

○奥津会長

他はよろしいでしょうか、これを持ちまして、第9期第4回北区男女共同参画審議会を終了いたします。